

9月30日：警戒感が高まる中で中小型が牽引

米国の大統領選挙の討論会が重荷となり市場心理は悪化していた中で、中小型株が大きく上昇した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.14%高の905.21ポイントで取引を終えた。取引時間中には0.39%ほど下落する場面もあった。

火曜日にはVN指数は0.93%安で取引を終えていた。

中小型指数が相場を牽引した。両指数はそれぞれ0.87%、0.79%高となった。

ダナンラバー（DRC）、サオマイグループ（ASM）、コテコンズ建設（CTD）、ビンミンプラスチック（BMP）、ペトロベトナムガス（DPM）が大きく上昇した。

VN30指数は0.27%高の858.54ポイントで取引を終えた。18銘柄が上昇した。

VN30先物指数は0.67%高の859.8ポイントで取引された。

大きく上昇したのは、サコムバンク（STB）、マサングループ（MSN）、SSI証券（SSI）、ペトロベトナムパワー（POW）、モバイルワールドインベストメント（MWG）などであった。

STBは出来高が2830万株であった。3.8%高の13800ドンで取引を終えた。

セクターごとでは、ゴムが最も上昇した。

その他、証券、農林水産業、小売、プラ化学、水産加工、飲食料品、保険などが上昇した。

ネガティブな点として、外国人投資は2523億ドンの売り越しだった。

水曜日にほとんどのアジア市場は下落した。大統領選挙の討論会の結果を見極めたいとの動きからであった。

火曜日の下落から警戒感が高まっているとThanh Cong証券はデイリーレポートで報じた。

VN指数は900ポイントを付けるかもしれないとBIDV証券は予想した。

流動性が下落し、値上がり数と値下がり数が拮抗しており、今後も現在の水準での上下が予想されると同社は述べた。

895-905 ポイントは強い支持線となっていると Thanh Cong 証券は予想した。

ハノイ取引所では、HNX 指数は 0.91% 高の 132.93 ポイントで取引を終えた。

同指数は火曜日には 1.04% 下落していた。

出来高は 3 億 9000 万株で売買代金にして 7.05 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。